

ごあいさつ

理事長 赤川新一



皆さまには、平素より新潟県信用組合（略称：けんしん）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまから当組合に対するご理解を一層深めていただきますよう、ディスクロージャー誌「けんしんの現況2023」を作成いたしました。経営方針や最近の財務状況、業績などをできるだけわかりやすくご説明させていただくことを心がけましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

令和4年度の県内経済は、春先に「まん延防止等重点措置」により人流に制限がかかり、飲食やサービスなどの業種を中心に消費需要の低迷が続きました。さらに、ウクライナ危機を契機として世界的な資源高が加速する中、日米の金利差を背景とした急速な円安の進行によって国内でも物価上昇が進み、価格転嫁の難しい中小零細企業は厳しい経営環境に直面しました。一方、夏以降、第7波が落ち着いた後は、ウィズコロナに移行し、全国旅行支援や水際対策の緩和など各種施策のもとで景気に持ち直しの動きがみられました。また、年間を通じて設備投資が堅調に拡大したことが景気の下支えとなりました。ただし、年明け以降、過度なインフレと金利上昇による海外経済の減速を受けて輸出を中心に県内経済にも逆風が吹き、景気回復はやや足踏みとなりました。

このような環境の下、令和4年度は、「第19次中期経営計画（令和4年度～6年度）“地域との伴走・共生”～顧客との信頼関係の再構築・強化を目指して～」の初年度であり、経営課題として「人的資源の活性化」「地域力の発揮」「組織体制の確立」「収益力の向上」「健全性の強化」の5項目を掲げ、計画の達成に向けて各種施策に取り組んでまいりました。特に、「地域力の発揮」に向けた取り組みでは、SGM活動を通じて、県内各地でお客様の課題解決に向けた活動を展開するとともに、地域貢献や環境保全活動に積極的に取り組むなど地域の「自立的好循環」の形成に向けた活動を推進した結果、地域におけるけんしんの存在力を高めるとともに、地域との伴走・共生に向けた成果が現れ始めております。

令和5年度は、第19次中期経営計画（令和4年度～6年度）の2年度目となります。計画の中間年度として、経営課題に掲げた「人的資源の活性化」「地域力の発揮」「組織体制の確立」「収益力の向上」「健全性の強化」の5項目の達成に向けて取り組んでまいります。地域経済を取り巻く環境は、コロナ禍や資源高等の影響による経済環境の悪化に加え、今年は多くの事業者にとってコロナ関連融資の返済が本格化する時期を迎えることから、依然として厳しい状況にあります。当組合では、ポストコロナに向けた資金繰り支援や収益力改善・事業再生・再チャレンジ支援等の地域のお客様に寄り添った総合的支援に取り組んでまいります。

地元を見つめ、地元とともに73年の歴史を刻んだ当組合が、今後もさらに皆さまから親しまれ信頼される金融機関としてお役に立てますよう、役職員一同全力をあげて邁進する所存でございます。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和5年7月

- 本誌は、「協同組合による金融事業に関する法律」第6条において準用する「銀行法」第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
- 本資料に掲載してある金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中の合計欄が一致しない場合があります。
- 本資料に掲載してある諸利回り・諸比率は、原則として小数点第3位以下を切り捨てて、第2位までを表示しております。
- 端数処理の関係から、掲載している構成比の合計が100%とならない場合があります。